【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成16年8月19日(2004.8.19)

【公開番号】特開2002-262291(P2002-262291A)
【公開日】平成14年9月13日(2002.9.13)
【出願番号】特願2001-381942(P2001-381942)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０４Ｎ　7/24
　Ｇ１１Ｂ　20/10
　Ｈ０３Ｍ　7/30
　Ｈ０３Ｍ　7/36
　Ｈ０３Ｍ　7/40
　Ｈ０４Ｎ　5/92
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｎ　7/13　Ｚ
　Ｇ１１Ｂ　20/10　３０１Ｚ
　Ｈ０３Ｍ　7/30　Ａ
　Ｈ０３Ｍ　7/36
　Ｈ０３Ｍ　7/40
　Ｈ０４Ｎ　5/92　Ｈ

【手続補正書】
【提出日】平成15年8月5日(2003.8.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】カメラ一体型ビデオレコーダー
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
カメラと、該カメラから入力された動画像信号をディジタル圧縮処理する信号処理手段と、該信号処理された画像信号を記録媒体に記録する記録手段とを備えるカメラ一体型ビデオレコーダーにおいて、
上記信号処理手段は、上記動画像信号を圧縮する圧縮手段と、圧縮された信号を伸長する伸長手段と、該伸長手段の出力を上記圧縮手段に伝達する信号伝達手段を有し、圧縮された信号を伸長し、異なる圧縮信号に再圧縮することを特徴とするカメラ一体型ビデオレコーダー。
【請求項２】
カメラと、該カメラから入力された動画像信号をディジタル圧縮処理する信号処理手段と、該信号処理された画像信号を記録媒体に記録する記録手段とを備えるカメラ一体型ビデオレコーダーにおいて、
上記信号処理手段は、上記動画像信号を圧縮する圧縮手段と、圧縮された信号を伸長する伸長手段と、該伸長手段が処理途中の信号を上記圧縮手段に伝達する信号伝達手段を有し

、圧縮された信号を処理し、異なる圧縮信号に変換することを特徴とするカメラ一体型ビデオレコーダー。
【請求項３】
カメラと、該カメラから入力された動画像信号をディジタル圧縮処理する信号処理手段と、該信号処理された画像信号を記録媒体に記録する記録手段とを備えるカメラ一体型ビデオレコーダーにおいて、
上記信号処理手段は、上記動画像信号を圧縮伸長する圧縮伸長手段を有し、該圧縮伸長手段は圧縮された入力信号を処理し、異なる圧縮信号に変換することを特徴とするカメラ一体型ビデオレコーダー。
【請求項４】
請求項１または２記載において、
圧縮された動画像信号を記憶する記憶手段を有し、圧縮機能を有する前記圧縮手段の出力を上記記憶手段に記憶し、該記憶手段から再生された信号を前記伸長手段にて伸長し、前記圧縮手段で異なる圧縮信号に変換することを特徴とするカメラ一体型ビデオレコーダー。
【請求項５】
請求項４記載において、
前記記憶手段から再生された圧縮信号を異なる圧縮信号に変換し、これを前記記憶手段に記憶することを特徴とするカメラ一体型ビデオレコーダー。
【請求項６】
請求項２、４、５のいずれか１項記載において、
前記した処理途中の信号は動きベクトルを含むことを特徴とするカメラ一体型ビデオレコーダー。
【請求項７】
請求項２、４、５のいずれか１項記載において、
前記した処理途中の信号はフレーム順並び替え前の画像信号を含むことを特徴とするカメラ一体型ビデオレコーダー。
【請求項８】
請求項１乃至７のいずれか１項記載において、
前記圧縮及び伸長方式は、ＭＰＥＧ方式であることを特徴とするカメラ一体型ビデオレコーダー。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
【発明の属する技術分野】
本発明はディジタル動画像信号を高能率符号化する信号処理機能をもつカメラ一体型ビデオレコーダーに係り、特に、動画像全体を通して均一な画質を保ちながら高能率符号化を実現するカメラ一体型ビデオレコーダーに関する。